

---

# オリキャラ、オリモン投稿板

滅却師

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オリキャラ、オリモン投稿板

### 【Nコード】

N0417N

### 【作者名】

滅却師

### 【あらすじ】

これは作者が暇つぶしに適当なキャラクター、モンスターを書いていくだけです。更新速度もおそらくとてつもなく適当だと思います。また、私の書いたキャラクターやモンスターの中で、起用してみたいと思うものがありましたら、メールさえくれればすぐに許可を出すと思います。こちらとしても、使ってくれれば嬉しいと思っています。

イザナギ(ゴッドイーター) ○(前書き)

丸が付いているものは起用されたものです。

## イザナギ（ゴッドイーター） ○

イザナギ スサノオ派生種

第一種接触禁忌アラガミ

別名『刃を蝕むモノ』

由来が神機のショート、ロング、バスターのみを捕食することからこの別名がついた。

両腕がバスター状になっていて、尻尾はショート、脚は全てロングになっている。装甲は鎧兜のような感じになっている。頭には兜をかぶっている。

攻撃方法は全て近距離。

ただし中距離攻撃として尻尾のショートを周りに乱射することがある。また脚のロングを使つての攻撃もある。

異例なことに、このアラガミは神機を持たない人間を襲うことはない。餌として認識していないのか、たんに興味が無いのかは不明。

また自分以外のアラガミに対してはかなり凶暴でもある。単騎でウロヴオロス墮天を圧倒している光景が目撃されている。

なおこのアラガミを相手にする場合はアサルト、スナイパー、ブラストなど銃形態の神機使いが戦うことを推奨している。

なぜならイザナギは剣形態の神機以外は捕食しないからだ。最悪、間違つて捕食されてもすぐに吐き出される。

CIOWさん起用。

## リュウ・ハザマ（モンスターハンター）

（前書き）

今日からキャラクターはこんな感じに書いていきます。

- 1 名前 性別 年齢
- 2 人種 種族
- 3 社会的地位 職業
- 4 好きな物事、嫌いな物事、趣味 癖 ポリシー
- 5 知性 知識
- 6 特技
- 7 武器 武術 魔法 その他の能力
- 8 履歴 過去のトラウマ
- 9 両親、親戚、兄弟姉妹、配偶者、恋人、子供
- 10 その他

## リュウ・ハザマ（モンスターハンター）

?リュウ・ハザマ 男 22歳

?竜人族

?ハンター ボウガン使い

?狩りをしているときが一番好き。群れたりするのが嫌い。武器の点検はマメで、時間があればいつでもしている。嘘をつくとき、耳の裏を掻く癖がある。

?狩りに関しての知識はかなり有している。興味が無いことに関しては全くの無知。

?投げナイフを同時に10本以上投擲できる。ちなみに全部敵に当たる。

?神ヶ島かジエイドテンペスト。防具はレウスSシリーズ。

?まわりの竜人族の人々の反対を押し切りハンターとなった。

?両親は存命。兄弟もいるがどうなっているかは知らない。

?もと竜人族でもかなりの地位の息子だったが、安定した日常と家族に縛られる生活を嫌い、自由を求めてハンターになる。

昔、ある人間の少女とよく遊んでいて恋中でもあった。しかしとある日を境に連絡が途切れる。どうなったかは知らず、それを知るためにもハンターとしてさまざまな地を練り歩いている。

私生活では基本的にフル装備でいる。竜人であると知られると、色々面倒になりそうだと思うているからだ。信用した相手には竜人であることを言う。

雀部修一 (working!)

? 雀部修一 ササキベ 男 17歳

? 日本人の血が4分の3、アメリカ人の血が4分の1のクォーター

? 高校2年生 小鳥遊と同じ高校で先輩。ぼぶらとは同級生

? 料理などが得意でキッチン仕事をよくやる。接客等は苦手。癖はなく、ポリシーも特には無い。趣味は新しい料理を考えること。試食は店長以外の人に頼む。店長だと食べるだけでまったく味の感想を言わないから。

? 料理に関しては探究心が尽きない。勉強では生物学に詳しく、歴史などには疎い。

? 伊波の攻撃をすべて防ぐことができる。

? 特に何も習っていないがそれなりに腕は立つ。

? 両親を事故で亡くし、自分一人だけ生き残ったことに罪悪感を抱いている。罪悪感故、自分の幸せ放り捨てて、他人の幸せを心から望んでいる。今のところは八千代と佐藤をどうやってくつつけようかと四苦八苦している。

? 両親はすでに死亡。祖父は存命しているが、たまにしか会っていない。

? 容姿は髪が黒。瞳は青。細身だが痩せているわけではなく、引き締

まっている。

バイトをし始めた理由はほとんど暇つぶしのため。最初こそは「バイト、間違えたかな……」と思っていたが、最近ではすっかり慣れた。

ワグナリアに雇われた理由は音尾さんに「まともな人を雇ってください」と店長が頼まれていて雇われた。実際、ワグナリア内ではかなりの常識人。

最近では偶然会ったとある小説家の女性が気になっている模様。今のところはこの情報は相馬に流れてはいない。流れたら流れたでいろいろとやばくなる可能性大。

## 的場彪（めだかボックス）

? 的場彪 ヒョウ 男 17歳

? 日本人

? 箱庭学園2年13組所属 別名『トリガイハッピー一発百中』

? 人吉がめだかに振り回されているのを見ているのが好き。面倒事は嫌いだが、頼まれると断れない。

趣味はダーツで今のところ無敗。

? 成績は特に秀でたものはない。ただしマークシートの問題は適当に埋めても必ず当たっている。

? 宗像同様、服の中に大量の武器を隠し持てる。

? 特注の絶縁体のダーツを大量に所有。床に落ちただけで半分はめり込む。また絶縁体のため、王土の電磁波干渉を受けない。

? 人吉やめだかとは幼馴染。しかし8歳のときに行方をくらませ、箱庭学園で再会する。

? 両親兄弟等は不明。名瀬の元恋人。同時に元13組の13人でもあった。

? 普段は誰に対しても紳士的な態度をとる。アブノーマル異常性を自慢せず、普通ノイとも普通に接する。プラスシックス裏の6人を異常なまでに毛嫌いしている。

彪の異常性は『絶対に当てる』こと。標的を認識し、そして視界

に入っているのならば、例え真逆の方にダーツを投げようと絶対に当てられる。人のみならず、宝くじなども必ず『当てる』。高千穂の反射神経とは五分五分の戦いを繰り広げる。

名瀬とは恋人だったが、名瀬の出生や本当の名前を知ってしまい、その秘密を名瀬自身に知られないために名瀬と別れる。同時に13組の13人からも離別。代償として右目と声帯を提供。普段はメモ帳で会話をする。

名瀬をフツたことからよく古賀に命を狙われる。

怒りが頂点に達すると紳士的な態度を捨て、容赦が無くなる。敵味方見境なしにダーツを投擲。この状態を人吉命名『人間災害モード』。めだかの『乱神モード』でのみ止められる。

黄色い悪魔さん御予約。

ハジャ（ぬらりひよんの孫）

? ハジャ 男 年齢不明

? 八岐大蛇

? 奥州遠野一家

? 生きとし生けるもの全てを愛し、戦いや抗争を嫌う、神話とは違った性格を持つ。趣味は家事全般。

? 世俗のことに疎い。古い話にはかなり詳しいが、多くを語ろうとはしない。

? かなりの酒豪。遠野の中では一、二を争う。

? 『破蛇葬送』 大地から漆黒の蛇を召喚。敵を雁字搦めにし、土中に引きずり込み圧死させる。

『天炎地水』 視覚を通して幻覚を見せる技。見せる幻覚は、視たものにはわからない。

『妖刀・蛇蝎』 自身の鱗をはぎ取り、鍛えた刀。人間を切ることはできず、妖異のみを切ることができる。ただし使ったものは狂喜にとりつかれ、目に映る全てを切り捨てる。普段は梵字が書かれた布で巻かれ、封印されている。

? 過去にスサノオに敗れ、退治されたと思われていたがそうではなく、長くの間山中で身を休めていた。

? 無し。今は遠野一家が家族同然。

？普段は遠野の最奥でひっそりと暮らしている。眼と髪は闇を切り取ったかのような漆黒の色をしている。肌は死人のような白。

スサノオに敗れた後、長い時の中自分の過ちに気付き、心を入れ替えた。そして、遠野一家に身を寄せた。しかし遠野でもその存在は危険視され、遠野の最奥で監禁同然となる。それを当然の罰と自身で感じ、それを受け入れ、最奥で生活を始めた。

昔、奴良組の総大将、ぬらりひょんに組へ勧誘されたが断る。

本当の姿に戻ると、神すら圧倒するほどに巨大な姿、八つの頭と八つの尾を持つ蛇へと変わる。この状態になると破壊衝動に駆られ、ありとあらゆるものを壊し尽す。この姿になると土蜘蛛、鶴を圧倒する。

## シュウ・リュウエイ（鋼殻のレギオス）

？シュウ・リュウエイ 男

？体の半分が汚染獣と同じ。常に全身を包帯でグルグル巻きにしている。右目の部分だけ包帯に隙間があいている。

？学園都市ツエルニの1年生

？静寂の中で精神統一しているのが一番好き。汚染獣を死ぬほど憎んでいる。趣味は花を育てることと外見とのギャップがかなりある。

？他の都市のことについてかなり詳しい。グレンダンの天剣授受者のことも知っている。

？一度見た物や事は絶対に忘れない。

？紅玉錬金鋼の大鎌。独学の化鍊到で敵を翻弄し、切り刻む。

？元は科学都市マキナの実験体。汚染獣の細胞を肉体に埋め込み、どのような反応を示すかが実験の主旨であったが、武芸者の細胞と汚染獣の細胞が異常反応し、シュウは目覚め、都市を半壊に追い込み脱走。学園都市ツエルニに流れ着く。

？全てにおいて不明。

？カリアンに正体をばらさないことを条件に都市を守ることを承諾した。同時に第17小隊に強制的に加入。その容姿故、生徒たちからはかなり気味悪く思われた。

だが武芸の腕ではレイフォンとほぼ同格で、二ーナからもその腕は認められている。

包帯の下は爬虫類系の鱗が体の半分以上を蝕んでいて、毎年だが今も少しづつ鱗が蝕んでいつている。どれだけ相手を信用しても、この姿だけは誰にも見せることはない。

汚染獣との都市外戦では汚染物質遮断スーツを着なくても戦える。でも一応正体を隠すために着る。

実験体として扱われていた時期が長かったため、自分はだれにも愛されることはない、自身の価値観を自身で捻じ曲げてしまっている。それゆえ、愛情は勿論、誰かから寄せられる信頼すら無意識で疑っている、悲しい人間でもある。

## ヤマタノオロチ(ゴッドイーター) 〇

ウロボロス同様、超弩級アラガミとして新発見された第0種接触禁忌アラガミ。

またの名を『世界を喰わないノウア』

発生地は不明。一説によると突如土中から現れたと言われている。嘘か真かは不明。

八つの頭と八つの尾を持ち、行く手遮るもの全てを捕食し、巨大となっていく。

体表の鱗は一枚一枚が刀のような鋭さを持ち、触れただけで切り刻まれ、牙には神経性の猛毒があり、かするだけで全身の動きを封じられる。そして八つの頭で同時に喰いつかれ、生きたまま八つに引き裂かれて喰われる。

凶暴化すると、全身から黒い煙のようなものが噴出し、動きがより素早くなる。

攻撃方法も一変。全身の鱗を散弾のように飛ばし、口から毒を霧状にして吐き出す。尾には1メートルは超える巨大な槍状の物質が大量にあり、それを飛ばす攻撃もある。

またこのアラガミは頭と尾を全て砕き、切り刻み、破壊しなければ行動を停止することはない。

同時にコアも8つあり、それぞれの頭と尾が独立した動きをする。

このような特異な形状と存在な故、完全に討伐をした部隊は存在せず、またフェンリル側の被害も甚大なため第0種と言う位をつけた。現時点でこのアラガミとの戦闘は死を意味するものとして、接触しても即時撤退するようにとされている。

またこのアラガミによって支部が一つ壊滅したという報告も受けている。

**篝火紫延（ブリーチ）（前書き）**

今回はブリーチのオリキャラ投稿！

## 篝火紫延（ブリーチ）

？篝火紫延 カガリビシエン 男 年齢不詳

？死神

？元隠密機動所属。現在なんでも屋。

？好きな事柄と嫌いな事柄は特になく、趣味は最近では碎蜂スイフォンをおちよくすること。かわりにおちよくった後は命をかけた鬼ごっこが展開される。

？なんでも屋をやっているうちに様ざまな知識を得ているため、色々な知識を所有している。もちろん、要らん知識も多々所有。

？鬼道を発展。縛道と鬼道に独自に100番台、110番台というものを作る。威力は様々だが、奇抜な技が多い。

例・破道の102番『魔滅刃』マハルホ  
詠唱文・『時の籠、届かざる祈り、森羅万象、闇に墮ちる使者、神を滅す光、我がもとに集まりし終焉、交差せし道、知らぬ言霊に耳を傾けよ』

効果・相手の周り、360度全てに漆黒の大鎌を出現。敵と認識した相手全てに射出される。

？斬魄刀の名は『墮天』 掛け声は『理を絶て』ことわり

形状は身の丈と同じ大きさの槍。先端を高速回転させて相手にぶつける。

卍解状態は『龍墜墮天』

死覇装が真っ白になり、手には純白の青龍偃月刀を装備。

この状態だと大気の風全てを操ることができる。また風を使って瞬歩を超す高速移動が可能。

？もとは現世の人間だったが、死んで北流魂街80地区「更木」で長い間生活をしていた。そこで培われた隠密移動や戦闘方法、斬魄刀などが四楓院夜一の目に留まり、隠密機動にスカウトされる。碎蜂とは同僚でもある。

？無し。夜一は姉、碎蜂は妹的存在だった。

？隠密機動では碎蜂とほぼ同格の実力を持っていたが、夜一が失踪するとほぼ同時期に姿を消す。その約50年後になんでも屋をやっているところを見つかり、碎蜂と命をかけた鬼ごっこを展開。一週間ほどそれが続き、なんとか紫延が逃げ切った。なんだかんだぶつかることは多いが、仲はいい。

碎蜂を妹のように思い、碎蜂の害となる存在は隠密に処理している。陰口を言おうものなら、それはそれは大変なことになる。

またマユリのことが大っ嫌い。理由としては「あんな見るからにヤバそうな奴が同じ死神だと思いたくない」とのこと。

## レルディ（ゼロの使い魔）

？レルディ・フォード・アルセリオ 男 18歳

？ハルケギニア人（元地球人）

？トリステインの貴族で風のメイジ

？魔法で戦闘の瞬間を最も好み、退屈を嫌う。趣味はムカつく奴を魔法で徹底的にいたぶること。貴族という立場を気にすることなく、平民とも普通に接する。貴族だからって威張っている奴を見ると半殺しにする。

？自分の系統以外の魔法以外は全くの無知。しかし虚無の系統はそれなりに調べてある。

？目を開けたまま眠れる。

？風系統の魔法のみを使用。それ以外の系統の魔法も使えるが、緊急時以外使わない。

？元は地球人だが、事故により死亡後転生。原作知識はかじる程度。

？父と母と妹のみ。妹をかなり溺愛している。

？二つ名に「天災」を持つ、スクウェアクラスのメイジ。普段は知られると面倒だということでラインを装っている。

ルイズやタバサ、キュルケの級友でルイズとは幼馴染。しかし貴族の誇りを第一とするルイズと誇り云々をくだらないと一蹴するレ

ルディはよく口げんかをした。しかし嫌っているわけではない。

一族の遺伝をほぼ継いでいない外見をしている。黒色の髪を逆立て、翡翠色の瞳を持つ。身長は才人よりちょっと大きいくらい。体格はかなりガッチリとしている。

貴族の位は上の中でそこそこの地位。生活に関してはなんの問題もない。

外見と比例し、かなり大雑把な性格を持っている。貴族の誇りやプライドを「くだらない」の一言。生き残る手段と言い張り、腰に刀を二本常備。平民などにも気さくに接し、そこらへんの子供ともじゃれていることもよくある。平民からはかなりの信頼を置いているが、貴族内での評価は冷ややかなもの。しかしそんなものを気にするほど繊細ではないので、あまり気にしない。

学院内での反応も、コルベルやオールド・オスマン以外の貴族からは冷ややかだった。突っかかってくる人間もいたが、そういうバカは片っ端から魔法で半殺しにしてきたため、徐々に周りから人はいなくなった。

同じ地球から来た才人とはかなり仲がいい。

剣の腕は才人とほぼ同格。二本の刀を使い、それに魔法を混ぜ合わせるトリッキーな戦い方をする。

入学当初にキュルケに熱烈なアプローチをしかけられたがそれら一切を断ってきた。なのでことあるたびに何かと突っかかってくる性格が真逆に等しいタバサとはそれなりに仲がいい。

使い魔は『エコー』。エコーは見た目はイタチとほとんど変わらないが、大きく青い目が外見上の特徴。韻龍と同じ幻獣であり、先住の魔法を使い変身する能力を持つ。

エコーの名前はイシス。普段はレルディの肩に乗っている。変身すると男言葉で口汚い言葉も平気で使う、レルディと同年くらいの女性に変身。身長はレルディの頭一つ分小さく、細身ですらりとした体形。胸は標準よりちょっと小さい。

## 猿飛秀吉（バカとテストと召喚獣）

? 猿飛秀吉 さるとびひできち 男 17歳

? 日本人

? 文月学園転校生 2年生

? 好きな食べ物を食べるときが至福の時（バナナが一番好き）。しかし食べている最中を邪魔すると、邪魔した相手をどこまでも追いかけて抹殺する。

? 全体的な学力はCクラス並。化学や生物学が一番得意でこれのみは学園で一、二を争う。数学が大っきらいでこれが全体の足を引っ張っている。食べる草と食べない草の見分け方を知っている。

? 掴める部分さえあれば、垂直な壁でも難なく登っていくことができる。逆に3階くらいからなら飛び降りても普通に着地可能。

? 召喚獣の姿は足軽姿で三又の槍を携えた姿。特殊能力は「加速」。一分間だけ超高速での戦闘が可能。

? 父親と母親。それと祖母祖父と一緒に住んでいる。

? 小学生のころは明久や姫路と友達だった。しかし親の仕事の都合で転校し、高校生になってから文月学園付近に引っ越してきた。

? 薄い茶色の髪に雄二とはまた違った野性味の現れた顔つきをしていて、頬に二本の引っかき傷がある。鼻の頭には絆創膏を張っている。

る。身体は小柄でムツツリー二より少し大きいくらい。

明久のことを「アッキーor明久」姫路のことを「姫ちゃんor瑞希ちゃん」と小学校のころから読んでいて、高校生の今もそう呼んでいる。姫路が明久に恋心を抱いていることを知っているため、何とかしようとは思っている。

ちなみに他のクラスメイトの呼び方は雄二は「ゴリランor雄二」秀吉は「ヒデッチor秀吉」康太は「ツッチーor康太」島田は「ミーちゃんor美波ちゃん」と基本的にあだ名か下の名前で呼ぶ。

自身より強い物を本能的に察することができる。よって自分より強い存在に対して男の場合は「殿」と呼び、女の場合は「姫」と呼ぶ。今のところこれが適用されているのは鉄人と高橋女史、そして霧島の三人。この三人には極力逆らわないようにしている。

喧嘩はそれなりに強く、身軽な体を生かした戦い方が得意。うざったい相手に対しては、躊躇なく骨や関節を抜く。

誰にでもフレンドリーな性格をしている。スキンシップの一環として、出会った相手に初っ端から抱きつく。むさい男にはやらない。友人を傷つけられると切れるなどの表現ができないほどヤバイ状態になり、傷つけた相手を狂った笑顔で徹底的に髑り殺す。

酒癖が悪く、酔うと普段からは考えられない行動をとる。

終焉寺始（めだかボックス）

（前書き）

久しぶりの投稿

## 終焉寺始（めだかボックス）

？終焉寺始 しゅうえんじはじめ 男 17歳

？日本人

？箱庭学園2年 - 13組所属 別名『アクセルマörder瞬間殺人剤』

？誰かと一緒にいるときが一番幸せな時間。平和や安定しているものが嫌い。だがみずからそれを壊そうとは思っていない。

自分の体に人間が触れようとするものすごい勢いで逃げる癖がある。

また動物が大好きで、理事長から譲渡された家は動物でいっぱいになっている（餌代などは学園から支給されている）。

？育った環境のせいもあり、人の殺し方や壊し方に精通している。

一般常識は少し疎い。

？アブノーマルは『体に触れたもの全てを殺すこと』

殺し方は自分のイメージした殺し方を実現させることができる。

たとえば相手に触れながら『上から落ちてきた岩につぶされてペットチャンコになる』と思えば、相手はそのイメージ通り、何も無いところでききなりペットチャンコになって死ぬ。イメージしない場合は魂が抜けるように死んでいく。

また殺すことのできるものは人間限定で、人間以外の生き物を殺すことはできない。

？武器は全身。どこを触れても確実に敵を殺すことができる。

？誰からも愛されずに生きてきたため、感情の欠落が激しい。特に正の感情がほとんどない。

？両親は子供の頃に行った海外で死亡。

？学園に居る時の恰好は全身を血染めの包帯でぐるぐる巻きにし、皮膚を外気に一切さらさないでいる。眼球だけがギリギリで外気に触れている程度しか出していない。

外見はかなり恐ろしい恰好だが、性格は純粹で幼い男児のような性格をしている。理由は両親を殺されたショックで外見と精神の成長が比例していなく、17歳の現在で精神は10歳程度。

小さい頃は能力に覚醒していない、普通の子どもだった。だが旅行で行った海外で両親がテログループに殺され、一人誘拐され、極限状態のなかで過負荷<sup>マイナス</sup>を覚醒。テログループをたった一人で皆殺しにした。

その後はその能力に目をつけたある組織に利用され殺し屋をやっていた。殺しをやっていた時の通り名は『殺戮機械』。由来は眉一つ動かさずに、老若男女構わず殺すところからきている。

16歳の時、箱庭学園の理事長に目をつけられ、組織を抜けて学園に入学する。其の当時は13組の所属だったが後に出来る13組最初の一人になる。

入学した時に知り合った不知火半袖が最初の友人で、そこから人吉やめだかなどと知り合う。人吉は兄のような存在で、めだかは姉のような存在。不知火は同年代の友人のような関係。

黄色い悪魔さん御予約

## クヌム（ゴツドイター）

巨大な老牛のような姿をし、全身が鋭い毛におおわれたアラガミ。気質はアラガミの中でも異例で温厚で非好戦的な性格をしている。だがその力量は計り知れないほど強大である。

発生地は確かではないが、数年前に起きた核融合炉の大爆破事件を境に見られるようになった。現在存在する数は一体だけと言われているが真実は不明。

またこのアラガミは人と同様に知性を宿しており、あるゴツドイターの証言によるとクヌムと対話したという者もいる。その声は廠かで、古い知性を思わせる声だったという。

またある支部で起きた、外部居住区の対アラガミ装甲壁を破られた際に、クヌムが侵入したアラガミを退け、其処に住む市民たちを守ったという噂まである。

ここ最近ではクヌムの行動域が徐々に狭まってきている。その中心にあるのは極東支部周辺ということもあって、何か起きる前兆でもある可能性がある。

また極東支部周辺ではほかのアラガミたちの行動も活発化している。一般からのタレコミでは周辺でイザナギも出現したと報告を受けている。

現状では本部はこのアラガミを危険視はせず、全支部に放置という命令を回している。

## 神吹獅子郎（バカとテストと召喚獣）

? 神吹獅子郎 かんぶきししあ 男 17歳

? 日本人

? 文月学園所属 Fクラス2年生

? 頭を使うより身体を動かすほうが大好きなFクラスの肉体派要員。考えることが苦手でちよつと考え込むだけですぐに頭から煙が出てくる。悪を持って悪を討つという考えを持っているため、自ら嫌われ役になることもしばしば。女性は絶対に傷つけないというポリシーもある。

? 成績は全体的に壊滅状態。下手をすれば明久レベル。しかし運動好きが反映されてか、召喚獣の操作も明久レベル。

? かなりのスイーツ好きのため、自分でお菓子を作ることができる。その腕はプロに限りなく近い腕。

? 召喚獣の姿は各所に最低限の防具をつけ、上半身裸の姿。

? 過去に両親から目つきが悪いだだけで酷い虐待を受けていたため、現在は両親とは遠く離れて暮らしている。その時の傷が身体のおちこちに残っているため、体中に包帯を巻いて肌をできるだけ見せないようにしている。

? 両親と姉がいるが、両親とは何年も音信不通。今ではFクラスの皆が家族のようなもの。

？真つ赤な髪に茶色の瞳を持つ。眉間にはいつもしわが寄っていて、目つきも非常に悪く顔もとて怖いため、いつも怒っているように見える。背は雄二とだいたい同じくらいで引き締まった肉体を持つ。

厳格そうな外見同様、他人ともあまり交流をすることもない。中学時代は過去のこともありケンカに明け暮れ、『血染めの獅子』という通り名まで付いていたこともあった。高校生になった今では喧嘩をすることも減り、明久たちとよく遊ぶようになった。顔つきだけはいまだに変わることはない。

性格は頭で考えるより身体を動かして、直感で動く性格。友人を悪く言うような奴にはすぐにブチ切れ、鉄拳制裁をかます。

住んでいるアパートからすぐ近くに工藤愛子の家があるため、中学のころから面識がある。そのため学園でもよく工藤が獅子郎に絡んでくることがある。そのたびに獅子郎が顔を真つ赤にするのを工藤が楽しんでる。工藤愛子に恋心を抱いてはいるが、それを伝える資格がないと思いつ込んでる。

一之瀬真人（インフィニット・ストラトス）（前書き）

原作と若干違つところがあつても、そこは無視しておいてください。

一之瀬真人（インフィニット・ストラトス）

? 一之瀬真人 いちのせまじん 男 15歳

? 日本人とロシア人のハーフ

? IS学園所属 1年生

? 学生だが大のたばこ好きで、教師の目を盗んで一服するのが好き。細かい作業や動作が嫌い。嘘をつくのが苦手で、嘘をつくときは右の瞼がすこし下がる癖を持つ。

? ISの知識に関しては壊滅している。代わりに戦略的な面では他よりも秀でているものがある。

? 初めて乗った乗り物でもすぐに使いこなすことができる。

? IS専用機は『金剛』第3世代ISに当たる。待機形態は黒いダイヤの指輪。

全体的な印象は黒色の鎧武者のようで、拳に当たる部分が通常よりかなり大きく、装甲もかなり厚い。一撃の破壊力と防御力に異常特化されており、近接戦闘を想定されて作られた機体。その分、機動力が著しく低下しているため、飛行速度などが遅い。

虚空之御手 いへんのみて

両腕と手に触れた物質を消滅させる金剛の単一仕様武器。詳しく言うと消滅でなく分解で、物質を原子レベルに分解してしまう。そのため相手のシールドバリアーや武装もすべて破壊することができる。ただしこれを使った場合、自身の絶対防御の能力が消失してし

まうため、諸刃の剣でもある。

破敵<sup>はがん</sup>

巨大な拳で、金剛の両腕であると同時に主力武装でもある。拳を発車させることもでき、腕と拳は強固な鎖で繋がれている。これにより敵の捕獲なども可能。

？赤ん坊のころに両親に孤児院に捨てられたため、孤児院で育った。そのため自身に劣等感を抱いている。

？両親は不明。孤児院の人たちが家族同然。

？白髪のツンツン頭をして、すらりとした体型の少年。あるとき、乗り手がいなく廃棄されようとしていたISに無断で触れたさいに起動してしまったため、孤児院からIS学園に入学させられる。最初は露骨に嫌な顔をしていたが、入学費など諸々を無料にするという条件で渋々承諾した。荒れていた時にケンカをしまくったせいで腕っ節はかなりあり、潜在的な戦闘能力は高い。家事はできず、基本インスタントで済ませている。

基本面倒事は嫌いで慣れ合うことをしない一匹狼気質。傲慢な奴は男女問わずに嫌悪感を示す。気の強い女が好き。

煙草と酒が大好きで、IS学園に入ってから月を見ながら一人で酒盛りすることがある。煙草のせいがか運動が少し苦手でもある。自身の育ちを知って以来、自分が死んだところで悲しむ奴はいないと考えるようになり、他人を助けるためならいくら傷つこうとも構わないと思っている。

孤児院の子供たちには優しく、本当の兄弟のように大切にしている。また少しでも孤児院の皆が楽をできるようにバイトで稼いだお金の大半は孤児院に入れている。

IS学園で知り合った一夏とはそれなりに仲がよく、行動を共にすることが多い。女子生徒から好意を寄せられることも多いが、一

夏同様、かなりの鈍感で朴念仁。

## テレジア・リユート (TOW3)

? テレジア・リユート 男 外見年齢20くらい、実際の年齢は？

? テレジアのディセンドー

? 魔法使い

? 新しいことにチャレンジすることが好きで、常に何らかの実験をしている。利益のために人を傷つけるような存在を嫌い、人を助けるためなら自らの手が汚れることすらいとわれない。料理が趣味なので、たまに自炊をしたりする。野菜料理が得意。

? 専門的なことや一般的なことにも精通している。特に魔法の知識は群を抜く。

? どれだけ本を高く積んでも絶対に倒れない。

? レディアント装備を完全装備。風と火の属性魔法が得意。

秘奥義はソル・ディレイ・ジャツジメント「天に数多ありし燃ゆる星たちよ、地に蔓延りし闇を討ち、救済の光を与えん！！ 来たれ、ソル・ディレイ・ジャツジメント！！」

? テレジアの過去のディセンドーの記憶を持っていて、過去に世界を救うことができなかったことを覚えている。その為、世界を救うことができなかった自分自身に自責の念を抱いている。

? パスカ・カノンとは恋中で、何よりも大事にしている。

？天然パーマの少し入った黒髪に金色の瞳。右目にモノクルをかけた  
ている、学者風の青年。背は高いががちりとした体系ではなく、  
すこしやせ形。気が弱い、芯はしっかりとしている。アドリビト  
ムの皆にとっては優しいお兄さんの存在。いつもニコニコしている  
が、怒ると某鬼畜眼鏡大佐に匹敵する真つ黒なオーラが体中から放  
たれる。

パスカ・カノンノ同様にハロルドの実験の手違いによってルミナ  
シアに飛ばされてしまった、ちよつと不幸な人。しかしリユートと  
してはカノンノと離れ離れになるよりはマシと思っっている模様。

職業は魔法使いだが、魔法の腕は超一流。テレジアでは単騎で魔  
物の軍勢を相手にしたこともあり、意外と度胸はある。本気の戦い  
となるといつもは柔和な表情が一変し、無表情で冷徹な空気を纏う。  
自分と同じ存在であるパスカ・カノンノを何よりも愛している。

そのためカノンノに傷をつけるものがあるならば、たとえそれが人  
間であろうと一切の容赦なく叩きのめす。結構カノンノに甘い部分  
があるのがたまに傷。

パスカ・カノンノと同じ容姿を持つカノンノ・イアハートとカノ  
ンノ・グラスバレーにも少し甘く、「彼女と同じ名前ですし、これ  
も何かの縁ということだ」といつも何かと理由をつけて二人のカノ  
ンノも護ることがある。実は心のどこかでこの二人がパスカの世界  
の因子を受け継いでるのではないのかと思っっている。

## 早乙女命（バカとテストと召喚獣）

? 早乙女命 さおとめみこと 女 17歳

? 日本人

? 文月学園2 - A所属

? 甘いものを食べる、もしくは作ることが好き。掃除が嫌いとか苦手。趣味はペットシヨップで子犬を見ることが。癖はうれしいときに頭頂部のあほ毛がピヨピヨと跳ねる。

? 成績は全体的にAクラスの成績。しかし一般常識にものすごく疎い。例えるならば明久の姉の玲並。しかも自覚がないためよけいちが悪い。

? ポーカーフェイス。というより単に無表情なだけ。

? 召喚獣は超巨大な手錠付きの鎖で服装は警察官の服装。妖怪状態の時はなぜか天使で武器は弓矢、本質は『悪を許さない心』。

? 幼いころ、両親と共に買い物をした帰り道に通り魔に遭遇し両親を刺殺される。命は助かったものの心に酷い傷を負った後遺症で血液恐怖症になり、さらに喜怒哀楽の感情表現を全くできなくなってしまった。

? 両親はすでに他界。幼い弟がいるが祖父母に引き取られているため会う機会は少ない。感情表現が下手と無口なため友人はごく少数。

？暗闇を切り取ったかのような艶やかな黒の長髪と黒の瞳を持つ。頭頂部にはあほ毛が立っている。体型は少し痩せてはいるが胸は姫路を2で割ったくらいの大さき。肌は真っ白で艶がある。過去のこともあり、何を考えているか分からないほど無表情で無口。喋ることほとんどない。本当は感情表現ができないだけで感情はある。

悪さをする人間を異常と言えるほど嫌悪している。そのため、悪さをする人間には情け容赦一切なくいつも持参している手錠や警棒、その他もろもろの武器で制裁を加える。

相手が許しを乞うても血まみれになろうとも無表情のまま制裁をやめないその姿からあだ名は『アイアンメイデン鉄の処女』。

Aクラスでの友人は霧島翔子と工藤愛子くらい。霧島とは仲がそれなりに良く、たまに手錠を貸したりしている。用途は御想像にお任せ。工藤は命の中では「甘いものをくれる良い人」という認識。そのため子犬のように懐いている。

Fクラスの友人は明久、雄二、康太、秀吉の四人との面識がある。その中でも秀吉とはまだ感情表現ができた幼いころに何度か遊んだことがあるため、秀吉だけが命の幼いころを知っている。

両親がかなりの金持ちだったため家は霧島家に負けず劣らずの豪邸。メイドが5人と60歳くらいの老執事が1人、信用の置ける人物を雇っている。ちなみに老執事の名前は東堂源三郎。家のお金の管理は命自身でやっている。今は両親の遺産で生活している。

狭間恭二（魔法少女まどか マギカ）（前書き）

作者は『魔法少女まどか マギカ』を知りませんので設定に関して  
おかしい部分が出るとは思いますがどうかお気になさらず見てくだ  
さい。

狭間恭二（魔法少女まどか マギカ）

? 狭間恭二 はなまきょうじ 男 15歳

? 日本人

? 中学3年生 現在不登校

? 新しい武器をバラしたり改造したりすることが好き。不条理に誰かが傷つくことが嫌い。趣味は特になく、調子に乗ると口笛を吹く癖がある。

? 基本的にバカ。だが故に損得勘定なしに行動することが多い。

? 敵の弱点や隙を瞬時に見破ることができる。

? 多種多様な銃器や重火器を常にバカでかいバックに入れて持ち運んでいる。お気に入りにはデザートイーグル50AEとマイクロUZ I。プラスチック爆弾なども所持している。

? 特になし

? 両親や兄弟は普通に暮らしている。佐倉杏子とは幼いころから互いに知っている仲。本人いわく「腐れ縁」らしい。

? バマミの死後に佐倉杏子と共に見滝原に現れた少年。白髪のおールバックに鼻の頭に真一文字の傷が一本ある。顔立ちはそれなりに良く、体格は逞しく背は杏子と頭一つ分くらい違う。性格は好戦的だが思いやりがある。さまざまな銃器を詰め込んだバックをいつも

肩に下げている。

身体能力は常人よりほんの少し上くらいだが銃器や爆発物を使った戦闘に慣れていて、十二分に魔女とも戦える実力を持つ。だが所詮はただの人間なため、生傷が絶えることはない。

魔法少女となった杏子の負担を少しでも減らすために戦闘では援護が主で、周りの使い魔などを排除することが主な役割となっている。何も無い普通の生活のときでは杏子に食いものを与える餌係。

不条理は不条理でねじ伏せるといふ信念を持ち、杏子の過去を知るがゆえにどんな手を使っても杏子を守ると心に誓っている。それ故に例え杏子と親しい仲だった者だとしても、害をなす存在となれば一切の迷いなく、引き金を引く。そしてこんな運命に引き摺りこんだキユウベえのことは姿を見せた時点で蜂の巣にしてしまう。

ほむら曰く、他の時間軸では一切存在しなかったらしく、ほむらからは「イレギュラー」とたまに呼ばれることがある。

## 天目豪魔（とある魔術の禁書目録）

？天目豪魔<sup>てんもくごうま</sup> 男 17歳

？人種、国籍、出身地共に不明

？学園都市、大能力者レベル4

？平和が一番と考えている平和主義者。なので無益な戦いなどは大嫌い、なのに良く面倒事に巻き込まれる。趣味は学園都市をくまなく散歩すること

？能力の関係から兵器や武器に関する知識が豊富。難しいことは考えない主義

？迷子になること。なのでよく警備員<sup>アンチスキル</sup>にお世話になっている

？能力名は『創造遊戯<sup>クリエイター</sup>』

能力は想像し創造するというシンプルなもの。想像すればゴーレムや人型の人形も創り、操れる。応用次第では電撃を放ったり、物質を分解もできる。効果範囲は最小で50メートル、最大で1000メートルとかなり広い。また効果範囲内であれば、AIM拡散力場を利用し敵の居場所を探知、その場所ピンポイントに攻撃も可能。他人のAIM拡散力場を利用した攻撃も可能だが、肉体への負担が甚大すぎるためあまり使うことはない。

だが弱点は多い。前記で言ったようなゴーレムは意思を与えることはできず、操る場合はそれに意識を集中させなければいけないため隙ができる。また、無から有を作ることとはできず、有から無へと消すことはできない。つまり等価交換の法則が働いている。ただ形

を変えたり、創ったものを宙に浮かすことぐらいはできる。ただし刀やナイフ、針のような単純な武器を作るとは簡単だが銃や爆弾といったものの複雑な構造の場合、その構造自体を頭に思い浮かべなければいけないため多大な記憶力が必要。さらに複雑なものを想像し、創造するときかなりの集中力が必要のため脳に負担がかかり、かなりの栄養を消費する。そのため能力使用时にはブドウ糖を大量に含んだ棒付きアメが必須。もしアメなしに戦闘を行えば、最悪の場合脳が再起不能なまでに破壊される。

このように能力に欠点が多いが、使い方次第ではいくらでもレベル5に化けることができる。

？元アイテムの構成員であり、浜面や滝壺とは旧知の仲。リーダーの麦野の本性に最初から気付いていて、麦野の思うとおりに動くことを嫌っていたため、一度麦野から本気の殺し合いをふっかけられたことがある。だがそれとなくやられたふりをして逃走した。

？両親はいるが置き去りのため、顔はすっかり忘れている。  
チャイルドエラー

？容姿は茶の短髪に右が黒の左が白のオッドアイ。背はやや高めで肉はそれなりについているスマートな体型。能力は幼いころから発現していて、それ故に置き去りとなった「原石」の一人。削板と同等に世界最高の原石と言われているが本人は自覚なし。語尾に「

さあ」と付ける癖がある。

幼いころに自身の能力を知らないうちに行使してしまったことがあり、それ以来親や周りの人間から「化物」として扱われた時期があり、化け物の自分は人を愛することは許されないと思い込んでしまっている。その為性格は飄々とした、掴み所がなく、恋愛に酷く臆病な性格となっている。

学園内を散歩した過程で上条当麻とも知り合いで、上条の不幸体質に同情をする一方、どんな人間とも分け隔てなく接し、助けるそ

の姿に憧れに近いものを抱いている。上条の能力は一応だが知っている。上条と知り合いになったせいか、たまに一人のときでも面倒事に巻き込まれることがある（豪魔曰く、当麻の不幸が乗り移ってきた、とのこと）。とあることが関係し、風紀委員の初春飾利とも知り合い。

戦闘をするときは呪文じみたことを唱えながら攻撃をする。例としては「大地の怒りよ、今形をなして我が敵を貫け！」といった感じ。唱えることに特に意味はない。総じて軽いバカ。

沸点が高いため、戦闘の際は冷静に見て戦いを進めるがキレると肉体の負担と周りの人間や建造物を考えず、動作なしに乱撃する。

## 山田太郎（めだかボックス）

? 山田太郎 やまだたろう 16歳 男

? 日本人

? 箱庭学園2年1組所属 別名『バリアフリー無優秀』

? 友人と話したり一緒にいる時が一番和む。逆に一人ぼっちだと物凄く暗い。趣味は本を読むことで、放課後などは図書室にすることが多い。

? 可もなく不可もなく、普通の成績。

? さくらんぼのへたを口の中で結べる。

? 能力は『範囲内に入った過負荷、異常、特別を一時的に全てノーマルに戻す』

能力範囲はその日の気分によって左右されるがだいたい学園をすっぽりと包む程度から身体の表面に膜のように張るくらい。この範囲内だと異常などのスキルを一切使用不可能となり、また身体能力その他諸々も普通イマールまで下げられる。もともとから普通である人吉などには通用しない。範囲内から出れば数十分で能力は戻る。

? 特になし。

? 父は普通のサラリーマン、母は専業主婦と、普通を絵に描いたよ  
うな家族・

？短めの黒髪に中肉中背、テストの順位はちょうど真ん中、テストも平均点ぴったり、運動能力も全国平均丁度、といったって普通の少年。普通すぎるがゆえに『無優秀』に目覚めるが、本人は能力のことを良く理解していない。だがこの能力「フラスコ計画」とは全くの真逆の能力故、不知火学園長から監視されている。

生徒会のメンバーとはあまり知り合いがいなく、人吉と半袖が友人。そのため良く厄介事に巻き込まれることがある。『無優秀』を持っているためか、昔助けてくれた日之影空洞前生徒会長のことを覚えていたため、見かけるとたまにお礼を言ったりする。

普通な彼に普通じゃない部分があるとすれば、好物が蝙蝠や蛙や蜂の子や蠍や蝶などのゲテモノだということだけ。この点においてはおそらく異常。

## 鬼島零（青の被魔師）

? 鬼島零<sup>きしまれい</sup> 15歳 男

? 日本人

? 正十字学園の被魔師塾生

? 面白いことなら何でも好きで、常に『面白いこと』と称して騒ぎを起こしている。逆に退屈なことが何よりも嫌い。

? 料理と勉強に関しての知識はほぼ壊滅状態。しかし外国語などに關してはほぼ全ての国の言語をしゃべることができる。

? 人間の上手な痛めつけ方

? 武器は対悪魔用に（偶然）独自開発した『梵字』を書いた包帯を両腕に巻きつけて戦う。またソロモン72柱の一人であるラウムと契約をしている。

? 過去に家族を悪魔に皆殺しにされた経緯を持つが本人はあまり覚えていない。

? 両親や祖父母は悪魔に殺され死亡。育ての親はラウム。

? 手入れのしていないボサボサの髪に黒の瞳の不良少年。背は180弱とそれなりに大きく、体格もそれないにがっちりしている。中学生のころは奥村燐とつるんでケンカに明け暮れる毎日を送っていたことがある。

性格は面白いことが大好きで、正十字学園の被魔師塾生になったのも「面白そうだから」である。メフィスト・フェレスとは非常に性格が似ているため、メフィストの企みに参加することがしばしばある。

性格は面白いこと好きだが、本性は狂気に支配された禍々しさをもつ。己さえ面白ければよく、それ以外のすべてがどうなるうとも構わないという、熾とはほぼ真逆の本性を持つ。

戦闘ではいつも独断で勝手に戦場に立ち入り、命令を一切聞かない。そのため生傷が絶えない。梵字を書いた包帯を腕に巻き、殴る蹴るなどの近距離戦闘しかしない。悪魔であるラウムの力を借りて戦うことも可能。

昔の記憶が曖昧なため、両親のことなどはほとんど覚えていない。その為育ての親であるラウムを酷く大切に思っているため、ラウムのためならば命さえも惜しくないと考えている。

育ての親であるラウムは基本的にはカラスの姿で零の肩に乗っている。しかしたまに人の形を取ることがある。その時の姿は上から下まで真っ黒な着物を着ている、黒髪黒目で真っ白な肌の人の形のような美少女。背は零より頭一つ小さい。悪魔のことに精通しており、性格は残虐で冷淡。人間のことをそこら辺にいる虫程度にしか思っていない。だが零だけは特別扱いをしているため、零が傷ついたり死にかけたりするとあたりかまわず全てを破壊する。

リユーマ・セレンス (TIGER & amp; BUNNY) (前書き)

もしこれを見ている方で、このキャラで小説を書いてほしい、というのであれば、一応は検討してみようと思います。

リューマ・セレンス (TIGER & BUNNY)

? リューマ・セレンス 23歳 男

? 日本人とアメリカ人のハーフ

? NEXTでありヒーロー

? 他のヒーローたちと他愛のない話をしている時間が好き。人を傷つける犯罪者は毛嫌いしている。趣味は読書で、化学系の本をよく読んでいる。

? 頭はそれほど良くはないものの、咄嗟の機転に優れている。

? どんな人でも、誰とでも仲良くなれる。

? NEXTの能力は『自身の体を強力な磁石にできる』こと。この能力によって、町の中での戦いではほぼ敵なしと言っても過言ではない。

例えば磁石の『引力』と『斥力』を使えば、建物の内部にある鉄筋などを利用した高速移動および高速離脱や、細かい鉄くずや砂鉄を利用した攻撃も可能。ただしいつさい鉄のない場所などでは最弱なので常に500mlのペットボトルに砂鉄を詰め、腰にぶら下げている。

? 道を違えたNEXTの友人を捜すため、ヒーローになった。

? 母親は生まれてすぐになくなり、父親は不明。現在は母が他の祖母と共に二人で暮らしている。

？スポンサーはコカコーラ。ヒーローの時の名は「ブラック・スコーピオン」

性格はヒーローとしての確固たる信念を持ち、義理人情を重んじる。

「何事もやってみなければ結果は見えない」が口癖で、どれだけ危険な場所でも我が身を省みずに突き進んでいく。その為、先輩ヒーローたちから良くお説教を受ける。生傷が絶えず、身体には今も無数の傷痕が残っている。

『HERO TV』での人気はそれなりにあるが本人はあまり気にしてはいない。スポンサーの言うことを聞かないこともしばしば。

同居している祖母はリユーマがヒーローであることを知っている。ホアン・パオリンに好意を抱いていて、良く食事などに誘う。が、奥手なため思いを告げられずにいる。先輩ヒーローのアントニオとネイサンにこのことでよく相談をする。

ヒーローになった目的は『咎人には同等の罰を与える』という思想を持ち、修羅の道に堕ちた友を捜し、救うため。

## 青エク悪魔（地の王眷属集）

？  
一角獣

『地の王』の眷属で上級悪魔。美しい毛並みを持った馬に憑依する悪魔で、強大な力を持ちながらも力をむやみやたらに使うことはない大人しい性格を持つ。人が踏み入ることがめったにない森の深奥に住むといわれ、森に迷った人間を出口まで導くことがある。一角獣は誇り高いため、人に仕えることはめったにない。しかし純粹な心を持つ乙女には付き従う。

角が力の源で、風を操り戦う。またその角にはあらゆる病や呪いを解く力もある。角が折れてしまうと全ての力を失う。ときおり人にも憑依することもある。

？  
魔像

『地の王』の眷属の下ゝ上級悪魔。精巧な石像などに憑依する悪魔で、憑依した像の姿形によって力量や性格がガラリと変わる。例えば竜の形の像を作った職人が『荒々しく、凶暴な姿をした残虐な竜』という念を込めて作ったのであれば、その念に反応して、その像に宿った魔像は『荒々しく、凶暴な姿をした残虐な竜』になってしまう。

石を操る力を持ち、上級の魔像となれば幾百の巨大な岩を操り攻撃をしてくる。

普段は石像として眠っているが、台座を傷つけられると目覚める。

？牛魔人  
ミノタウロス

『地の王』の眷属の中級悪魔。雄牛に憑依する悪魔で、姿は絵に残っているような牛の頭に屈強な男の上半身、そして牛の下半身を持つ。大人しいものから凶暴なものまで性格は様々で、共通していることはあまり頭がよくないということと赤を見ると凶暴化すること。魔力などはあまり持たないが単純な力だけはかなり有しており、腕の一振りで大木を薙ぎ払ってしまうほど。

？獣人馬  
ケンタウロス

『地の王』の眷属で中級悪魔。人間に憑依する悪魔で、上半身が人間で下半身が馬の獣人型の悪魔。獣人馬の多くは戦士としての誇りを重んじ、普段は冷静で理性的。その為自らすすんで人を襲うようなことはない。戦うことがあっても、フェアな戦いを望んでいる。剣や弓矢などを使い戦うことが多いが、今では銃などを使う個体がいるという。

？砂龍  
サンドワーム

『地の王』の眷属の下級悪魔。ミミズなどに憑依する悪魔で湿地帯

を好む。頭部が八つに分かれてその内側には牙がずらりと並んで生えている。体長は一メートルから五メートルで知性はほぼ無いに等しく、雑食。言い伝えでは砂龍が一匹いれば、どれだけ不毛の地でも1週間あれば肥沃な土地へと生まれ変わるといわれており、神様として奉られていたこともあった。砂漠にすむ個体もいると言われ、過酷な環境下の影響なのか、体長が五〇メートルを超す個体が目撃されている。

? 餓鬼<sup>インナ</sup>

『地の王』の眷属で下級悪魔。子供に憑依する悪魔で、いたずら好き。憑依された子供は肌が浅黒くなり、小さな二本の角と蝙蝠のような羽、そして鉤のような尻尾が生える。性格は幼い子供そのもの。いたずら好きな小悪魔で、人を困らせることが大好き。人間の子供と一緒にあって大人にいたずらをすることも多々あり、害を与えることはあまりない。満足すればすぐに虚無界<sup>ゲヘナ</sup>に帰ってしまうが、稀に人間の少女に恋してしまい、中々帰らない個体もいるとのこと。

## ゴッドイーターまとめ其の1

? ウエウエコヨトル

説明・人間の半分くらいしかない体躯を持つ、猿型のアラガミ。姿形は二ホンザルに酷似しているが、牙が鋭く、爪が長く鋭利で木の棒くらいなら簡単に切り裂くことができる。動きも小柄なため俊敏かつ速い。そして常に二桁単位で群れをなし、行動をするため連携による戦闘を得意とし、敵の体力を徐々に奪っていく戦いを好む。またお尻から毒ガスを噴射する攻撃ができ、ウエウエコヨトルの顔の色によって毒ガスの種類も変わってくる（赤なら引火性のガス、青なら氷結、黄色なら麻痺などなど）。同じ猿型ということもあつてか、コンゴウや他のアラガミと共に行動する姿が確認される事がある。ウエウエコヨトル単体の戦闘力は低く、下手をすれば一撃で倒すことができる程度。

? シワコアトル

説明・物語で出てくる、土くれからできたゴーレムのような姿のアラガミ。元の正体はアラガミを形作るオラクル細胞が土と同化し、そのまま一つの形に形成されてこうなつた。大きさや姿形はバリエーションに富んでいて、強さもバラバラ。攻撃方法も単調で、基本殴るか押しつぶすか土の塊や岩を投げってくるだけのため、その知性もたかが知れている。しかし倒すとすると厄介で、いくら斬り付けたり撃つたりしても周りにある材料で身体を再形成していき、傷つけるたびに大きさも増していく。完全にシワコアトルを倒すならば、シワコアトルの身体の丁度中心部を絶え間なく攻撃し、そこに存在するコアを神機で破壊、もしくは捕食することでシワコアトルを倒すことができる。

？デウス・エクス・マキナ

ボルグ・カムランの第一種接触禁忌種。スサノオは神機を好んで捕食するが、デウスはゴツドイーターの腕輪を好んで捕食する。『ゴツドイーターキラー』。頭部は角の付いた兜をつけたようで、身体は全体的に機械的な作りをしていて、4本の脚は全て脚甲を付けたような脚をしている。本来、盾がある部分は右が三角錐の形のランス、左は先端に鋭利な5本の爪のついた盾。尻尾の先端にはガトリングが付いている。また右腕と左腕、尻尾や4本の脚全部の根元付近にゴツドイーターの腕輪のようなものが付いている。全身に赤色に淡く発光する筋が奔っており、この色が眩いほどに発光すると動きが通常の2倍以上に跳ね上がり、尻尾のガトリングの弾丸も着弾点で爆発するようになる。

？ナナウトツイン

説明・人型のアラガミで、はつきりとした正体はいまだにはつきりとしていない。その理由はゴツドイーターたちの目の前に現れるのはいつも闇を切り取ったかのような色をし、人の形をしているだけであるため。このアラガミの特徴ははつきりとした敵意を相手に示すことなく、初めて会った相手に対してはジッと見つめるだけ。2度目の接触ではだれにも気付かれないように相手の一部に触れ、3度目に会うときは触れた相手そっくりに形を変えて現れる。このときになってようやく、攻撃をしてくる。対象はゴツドイーターからアラガミまでと幅広く、果てはそこらへんの野良犬にも化けることがある。また攻撃方法も化けた対象と同じ攻撃方法しかしないため、学者の間ではこのアラガミがどういった理由でこのようなことをす

るのかと日夜議論が交わされている。

？アラクネ

説明・蜘蛛型のアラガミ。まるで人間の頭蓋骨その物のような形の胴体をしており、顎に当たる部分が鋭く、鼻に当たる部分には人間の顔面に似たものが張り付いていて、下の方には左右4つずつ、合わせて8つの穴が開いている。非戦闘時にはそこから無害のガスを噴出させ、低空を浮きながら移動をする。基本的に攻撃を加えなければ人に危害を加えることのない、非常に珍しいアラガミとして注目を集める。だが一度でも攻撃をすると、ガスを噴出させていた穴からウロボロスのような触手を出現させて攻撃態勢を取る。攻撃方法は触手による攻撃や口から強烈な酸を吐くなど。左右の前の脚だけは手のように扱え、敵を捕まえて手ごと酸で溶かすこともある。また他のアラガミとの仲が非常に悪く、ゴツドイーターよりもアラガミを優先的に攻撃をすることが多く、うまく利用をすれば労せず複数のアラガミを倒すこともできる。目撃数が非常に少なく、一説では行方不明となったゴツドイーターがアラガミ化した後も自身をこんな姿にしたアラガミを憎み、その念だけが残ってアラガミを優先して襲うようになったのでは、という面白い説が残っている。

## ゴッドイーターまとめ其の2 (前書き)

今回はゴッドイーターも入れようと思います

## ゴツドイーターまとめ其の2

ゴツドイーター

?カルマ・エルデイン

仕様神機・旧型神機『草薙』（特注神機）

神機説明・盾などの余分な装甲の一切を無くし、強度はそのまま。より速く、より斬り易くを特化した抜き身の刀のような神機。斬れ味は従来の神機を軽く上回るが、一撃の威力はやや低い。捕食モードはそのまま使える。

説明・見た目は日系黒髪黒目の二十歳前後だが、三十歳を超す熟練のゴツドイーター。本来なら引退してもいい歳だが、他の追隨を許さないほど卓越した戦闘力とバトルセンスによって今も第一線で戦い続けている。性格はいい年こいてひねくれ者で天邪鬼。「ヒヤハッ！」と独特の笑い方をする。常にあべこべなことをいい周りをひっかきまわすので、彼により付く人間はほばいない。しかしそれは今までの戦いで仲間を何十人も失ったことで、自身が仲間を殺しているのだと思ひ悩み、誰も自身によりつかないようにするために10年以上前からこの性格へと変えた。極東支部で昔のカルマを知る人間は雨宮ツバキ、百田ゲン、ペイラー榊など。昔は今と真逆の性格だったらしい。今は特定の支部に留まることはなく、風来坊のように各地を歩き回っている。たまに極東支部に寄ってはツバキからありがたいお説教を受けるとか。

アラガミ

?四聖獣

説明・世界に散らばるある4体のアラガミ『業火を纏い天を駆る紅き鳥、風を呼び竜巻と共に来る白き虎、山のごとき巨軀と堅き甲羅の黒き亀、嵐の中に潜み豪雨を操る青き竜』を総じてこう呼ぶ。この四体の名は中国の神話、天の四方の方角を司る靈獣から取り、スザク、ビヤッコ、ゲンブ、セイリユウと呼び、四体とも第一種接触禁忌種に指定されている。能力は不明で、またなぜ世界に散るようにして行動をするのかも不明。詳しい情報は今のところ存在しない。

?フェンリル

説明・4 mほどの巨軀を持つ白狼。人間と同等、もしくはそれ以上の知性を有しており、人と同じ言語を話す。何らかの目的があるようで、常に世界を周っている。地球を「大いなる母」と呼び、月へと飛び立ったシオのことを「真に世界に愛された娘」と呼ぶ。他のアラガミと違い、人間には興味を一切示すことはないが、ゴッドイーターにはある程度の興味を示す。背から二本の触手を伸縮して出すことができ、そこから電撃を出すこともできるがそれ以上に注目すべき点は、フェンリルは強力な再生細胞を有している。触手を伝道管にこの細胞が人体に侵入すると細胞の再生力を強化し、さらに欠損した細胞の代行をする機能が備わっている。さらに免疫機構をクリアする遺伝子情報も含まれているため、人体を傷つけることはない。なぜこのような力を持っているは不明だが、この再生細胞に救われたゴッドイーターが少なからず存在する。人を喰うことはなく、アラガミのみを喰らうことが確認されている。

## 変わり種アラガミ集

? チョコレートメイデン

説明・カカオなどのチョココレートの材料のみを捕食し続けたクワンメイデン種が変化した姿。全身を上質なチョココレートに似た液体がめぐっており、その味はプロも顔負けな味という。毒性は低く、口に含んでも手足がしびれる程度で、高温で温めれば毒性は失せる。凶暴性や攻撃性は非常に低く、自身の身体から分泌される疑似チョコレートを多種のアラガミに与えることで共存関係を築いている。なおこのアラガミは特別保護種としてフェンリルで認定されているため、むやみに狩ると厳しい罰が下る。チョココレートが貴重な現在、このアラガミが狩れる時期はもつともチョココレートが消費される『バレンタイン』の日の前日のみとされている。この日はチョコレートメイデンを巡って女性同士の戦いなども勃発されるため、女性ゴツドイーターの怪我率がこの日だけグンと上がることが報告されている。ちなみにチョココレートメイデンには墮天種も存在し、こちらはホワイトチョココレートとなっている。

? スケープゴート

説明・羊を捕食したことによって、羊と同じ姿形となったアラガミ。気性はひたすらにおとなしく、近くに人間が通ろうともひたすらに餌であると思われる草を食べている。ただし下手にちょっかいを出すと唯一の武器である堅い角で体当たりをされる。またこのアラガミからは上質な羊毛が採取できることで有名で、この羊毛はさまざまなものに活用でき、スケープゴートの羊毛からできたベットは安心の寝心地と安眠を約束してくれる。このアラガミから毛を刈るに

は専用のハサミが必要なため、依頼のときのみ渡される。このハサミ以外で毛を刈ろうとすると、なぜだかは分からないが毛の質は一気に落ちてしまう。基本的に群れをなして行動するが、稀に本物の羊が紛れ込んでいることがある。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0417n/>

---

オリキャラ、オリモン投稿板

2011年10月7日00時58分発行